館報
やまがた
8月号
No.832
令和7年
(2025年)

働く姿シリーズ

スイカ農家三代目　　小野　耕輔（こうすけ）さん（上竹田）

渚に市場があった頃から、この村のスイカ生産の草分けとしてがむしゃらに働いた祖父。それを継いで美味しいスイカ作りに工夫を凝（こ）らす父。小さい頃からそんな姿を見て大きくなり、いよいよこの春から自身が経営者となりました。小さな苗から数ヵ月、汗を流し大切に育てても最後にだめになってしまうこともあります。自然相手の仕事に難しさを感じつつも、自身はどのような農業経営をしていこうか、自問自答しながら畑と向き合う日々です。

（8月2日　村内スイカ畑にて）

告知板

公民館講座のお知らせ

9月も魅力的な公民館講座がいっぱい!
気軽にご参加ください。

たのしいタロット占い入門

〈内容〉初めてのかたも大歓迎。
タロット占いの紹介や
実際に占いをしてみます。
〈日時〉9月12日㈮19:00～20:30頃
〈場所〉トレセン語らいの部屋
〈申込み〉必要
〈その他〉費用はかかりません。

バドミントンで交流会

〈内容〉みんなで楽しくバドミントンを
通じて交流します。
〈日時〉9月27日㈯
13:00～16:00頃
〈場所〉トレセン体育館
〈申込み〉必要
〈持ち物〉上はき、運動のできる格好
※ラケットやシャトルはなくても大丈夫です。

各講座の詳細はホームページをご覧ください。

【お問い合わせ・お申し込み】
山形村教育委員会　☎0263-98-3155

ときめきいっぱい公民館講座

エンディングノートの作り方

7月22日㈫、トレセンふるさと大ホールで公民館講座エンディングノートの作り方が開かれました。長野地方法務局松本支局より総務課長・清水通庸(みちつね)氏、遺言書保管官・樋口和明氏の2名を招き、ご説明いただきました。自分自身に何かあったときに備え、ご家族が様々な判断や手続きを進める際に必要な情報を残すためのノートです。これまでの人生を振り返り、これからの人生を考えるきっかけや、遺言書作成の手がかりとなるとあって、参加者は熱心に聞き入っていました。

『和太鼓合宿きよみずのうたげ』に参加しよう

8月10日㈰トレセン体育館にて、公民館講座コラボ企画「『和太鼓合宿きよみずのうたげ』に参加しよう」が開催されました。

『和太鼓合宿きよみずのうたげ』は彌磨太鼓の増沢代表らが企画したイベントで、愛知県から『武鼓(ぶっこ)』(武豊町)と『TK和太鼓部MOVE』(名古屋市)の2チーム計30名以上が来村し合宿しました。10日の発表会には松本養護学校の『まつよう太鼓JOY』の18名も加わり、演奏者は60名を超えました。公民館講座はそこに飛び入り練習ができるという企画です。11組の応募があり、13名が参加しました。最後の演目で全員でたたく和太鼓の響きは圧倒的でした。

講座に参加した大島えとさん(小1・小坂)は「楽しかったです。あまり緊張はしませんでした。太鼓の音に包まれてフワフワしました」と話していました。

山すそ

私は、「海に行きたい。」もしそう考えたら、どこの海か、どうやって行くのか、日帰りか泊まりか…など計画し、家族に聞いてOKなら速やかに手帳・カレンダーに書いて、旅館等の予約するようにしています。私の性格上、そこまでしないと結局行かないからです…▼今まで数々の予定を立ててきました。しかし恥ずかしながら予定通り進んだことは少なかったと認識しています。つい先日の世間話のなかで、それは計画と言う覚悟がなかったからだと気づきました。計画しないからダラダラなものなってしまい、結局何もしない。あぁ、確かに昔の自分はそんな感じだったなぁと実感しました▼いつから冒頭のように計画するようになったか覚えていませんが、行き当たりばったりで無駄に予定を立て実行する頻度が低いより、計画して有言実行された方が家庭内での地位向上に繋がることにも気づけました。だがしかし、家族の意見を組み入れることを忘れずに…。

図書館からのお知らせ

図書館休館のお知らせ

9月1日㈪～9月12日㈮まで、システム更新と蔵書点検のため、休館になります。長期間ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

製本講座
「着物地で作る和綴じ本」
＼ 参加者募集 ／

〈日　時〉10月12日㈰ 9:30～12:00
〈場　所〉トレセン ふるさと大ホール
〈講　師〉鈴木信さん
〈材料費〉500円
〈定　員〉15名（先着順）

《お申し込み・お問い合わせ》
山形村図書館98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO.77

編集＝山形村図書館

「縄文」第2弾「山形村の縄文を知る」

図書館の縄文企画第2弾は「縄文かふぇ」。教育委員会の和田和哉さんを囲んでの縄文講座に小学生2名を含め15名が参加しました。

和田さんに、山形村の遺跡発掘の様子、そこからうかがい知る縄文人の暮らしぶりを語っていただきました。続いて参加者から質問。1万年も続いたといわれる縄文時代、戦争はなかったのか。縄文人同士はどのようにコミュニケーションをとっていたのか、縄文の次の弥生人はどこから来たのか…、知りたいことが次々と湧き出てきて、縄文好き参加者の熱量に圧倒されました。

今なお謎の尽きない縄文時代、ロマンを感じますね。

開発に伴うわずか80㎝幅の発掘現場から、県宝に指定された土器が出てきた話や、土器は遺失物扱いになるので、警察への届出が必要なんだというトリビア話も愉快でした。

「縄文」の奥深さを堪能した1時間半でした。

中学生の持ち込み企画「ビブリオバトル」開催

7月31日㈭、村図書館初のビブリオバトルを開催しました。これは、バトラー（本の紹介者）が本の紹介をし、聴いていた人たちが「どの本を一番読みたくなったか」投票し、チャンプ本を決める、本の紹介合戦です。

実はこれ、「村図書館でぜひビブリオバトルをやりたい」という中学1年生の徳竹星南さんの持ち込み企画なのです。6名の小学生がバトラーに応募してくれ、30名近い聴衆が発表を見守る中、星南さんの進行でビブリオバトルが始まりました。

みんなの好きな怖い本や魔法の本、お父さんの好きなおすしの絵本等、自分の言葉で熱く語る姿が印象的でした。いきもの図鑑の紹介ではオオサンショウウオへの興味が熱っぽく語られ、ペットの繁殖問題の本の紹介では「みんなに知らせることが自分のできること」と自分事として考えている様子が伝わってきました。

さてチャンプ本は、村上拓己さんが紹介した『ぬまがさワタリのゆかいないきもの㊙図鑑DX』に決まりました。紹介本は村図書館にも入ります！お楽しみに。

戦後80年 平和を考える

8月の図書館展示は「戦後80年、平和を祈念して」です。

今年は節目の年なので、元伝承館とコラボし、当時の様子がわかる品々を同時に展示しています。

村の遺族会発行の『平和の礎』には、遺族の切々たる思いが綴られています。

負の遺産として次の世代に引き継がなければと思います。

展示は8月31日㈰まで。

BOOK 77 新着本

〈おすすめ新着本紹介〉

『年金のしくみともらい方』小林労務（ナツメ社）

年金はいつもらうのがベスト？制度はちょこちょこ変わるので、最新号で要チェック。イラストや図表でわかりやすく解説します。

『全国平和スポットへのいざない』佐藤功（かもがわ出版）

訪れると平和の尊さやありがたさを感じる場所。中学高校の教員が、実際に歩いた戦争遺跡や平和スポットを紹介します。

『めざせ辞典マスター』白板洋一監修（ポプラ社）

「辞典しりとり」「早引き競争」「言葉めいろ」「言葉足し算」…。辞典ゲームを楽しみながら、言葉の達人になろう。

『こどものためのもしもしもマニュアル』佐藤健監修（理論社）

9／1は防災の日。火災報知器、消火器、非常階段など、非常事態に使う道具や設備の使い方を解説。知っておきたいですね。

〈新着DVD〉

「はたらく細胞」
「シャイロックの子供たち」
「天才ねこモーリスとゆかいな仲間たち」他

盛大に開催!

8月14日、山形じゃんずらが開催されました。
この楽しそうな顔、顔、顔！
雰囲気を少しでもお伝えできればと思います。

第41回 山形じゃんずら

今年は天候に恵まれ、会場の皆さんは2年ぶりのじゃんずらを楽しんでいました。左のQRコードから花火を動画で見ることができます。

No.9
未来へ続く
輝きの瞬間

No.5
2025年の夏空へ届け
還暦の花火

No.1
大地の息吹と
天の煌めき

SUP（サップ）体験会

SUP体験会が7月22日㈫・29日㈫、B＆G海洋センターで行われました。体験会は3年前から始まり、毎年好評の夏のチャレンジ講座です。22日には小学生10名が参加しました。

SUP（スタンドアップパドルボード）とは専用ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進む水上アクティビティです。

講師は教育委員会の山口雄太さんが務めました。

はじめにライフジャケットとヘルメットを着用し、緊急時に水に浮く方法を練習した後実践に入りました。

座り→膝立ち→立ち漕ぎの順に覚え、練習中には参加者全員が立ち漕ぎをできるようになりました。バランスを保つのが難しい中、パドル操作を上手に使い、行きたい方向へ進んでいました。

参加者の山口桃李（とうり）さん（小6・下大池）は「初めは板の上でバランスをとるのが難しかったけど、慣れてきたら漕ぐのがとても楽しかった。来年も参加したい」と話してくれました。

8月5日㈫にはタイムを競い合うトライアルも行われました。

夏休みこどもひろば

8月11日㈪と12日㈫、社会福祉協議会主催の夏休みこどもひろばがありました。11日の午前中は下大池公民館でカレーを作り、午後は雨天のため自然観察を中止してクロモジの楊枝（ようじ）づくりとササ舟づくり、室内レクを行いました。

参加した百瀬公星（こうせい）さん（小6・小坂）は「レクもカレー作りも楽しかったです。来年はスタッフとして関わりたいです」と話していました。

スマイルみどりんの集い

8月2日㈯、幼児・小学生・保護者・ボランティアを含む47名が参加し、『スマイルみどりん』の収穫体験が行われました。

まず2チームに分かれ、畑でトウモロコシ・ジャガイモ・ニンジンなどを汗まみれになりながら収穫しました。

その後、BBQハウスに移動し、日赤奉仕団の指導の下、災害調理食（コーンご飯・豚汁）とゼリーづくりに挑戦しました。高学年の子が小さい子の世話をしながら、野菜をカットする微笑（ほほえ）ましい場面も見られました。

次にトレセン大ホールに移動し、食育の会の皆さんから、熱中症対策についてお話を聞きました。朝食の味噌汁が熱中症に一番いいと聞き、おどろいていました。

午後は、お話の会により『おばけのてんぷら』（絵本）・『おじいさんとおばけ』（紙芝居）の2本が読み聞かせで行われ、お話の世界に没頭しました。

最後のゲーム大会では「王様じゃんけん」（景品付き）が行われ、大盛り上がりでした。

参加者からは「来年もぜひ家族で参加したい」「11月の焼き芋が楽しみ」との声が寄せられました。

日本刺繍アート展が開催

8月13日㈬、14日㈭に文化交流施設あらぎの庄で日本刺繍アート展が開催されました。

村内在住の平野珠恵さんが手掛けた色とりどりの作品が約50点ほど展示されました。

平野さんが日本刺繍を始めたのは通っていた美容室さんに紹介され、だいたい15年くらい制作をしているそうです。

日本刺繍（ししゅう）の魅力は「色とか模様が古典的なものが多く、少しずつ出来ていくのが嬉しい」と話してくれました。

風（敬称略）

おめでた（子・親）

大池　沙季（サキ）　秀実　上大池
留衣　上大池
小林　乃日（ノカ）　聖也　下大池
真澄　下大池
小松　歩夢（アユム）　拓矢　中大池
紫衣　中大池

おくやみ

堤　明樹・85歳・上大池
堤　怜子・78歳・上大池
中野　幸時・87歳・下大池

走りの学校

8月9日㈯、ふれあいドームで2025年夏のチャレンジ講座『走りの学校』が行われました。毎年恒例のこの講座は今年で3年目を迎え、全4回の内、今回はその初日でした。講師は辰野町出身の『走りの学校』公認インストラクター松田淳さんが務めました。

ストレッチと基礎的練習で体を慣らした後、「ボールを弾ませたときと同じように脚を地面に強く踏みこんだ反発を利用することが大事」と〝速く走る原理〟の説明を受けました。それを踏まえミニハードルを使いフォームを確認し、最後に全員リレーを行いました。速く走るコツを聞き、みるみる上達していく姿が印象的でした。参加した山口力橙さん（小3・下大池）は「疲れたけど、もっと練習すれば速く走れる気がする」と話していました。

多世代交流講座

7月23日㈬、夏休み多世代交流講座が開催されました。

午前の部ではトレーニングセンターふるさと大ホールにて、講師に中條裕史さん（上竹田）を迎えてランタン作りが行われました。参加者は小学生を中心に60名を超え、昨年度からの公民館講座で最多となりました。今回制作した、わりばしと和紙で作られた三角すい型のランタンは清水寺ライトアップ大作戦でも展示されました。

お昼にはキッチン和っこのカレーライスを食べ、午後の部は清水高原へと場所を移し、講師の岡上洋さん（清水高原）による自然体験講座が行われました。参加者は約20名で、大自然の中で子どもたちはアスレチックを楽しみました。

清水寺 夏のライトアップ大作戦

8月12日㈫から14日㈭まで、清水寺にて参道から本堂前までを約500個のLED（発光ダイオード）キャンドルで照らすイベントが行われ、境内は幻想的な彩りに包まれていました。昨年12月に清水寺管理人の岡上洋・真梨夫妻（清水高原）によって10年ぶりに復活し、今年は山形小学校3年生が描いた絵で作られた70個以上のランタンが本堂前でライトアップされました。山形村公民館『多世代交流講座』で制作した木工ランタンは文化交流施設あららぎの庄の館内に並べられ、訪れた人たちの目を楽しませていました。

清水寺の本堂前

あららぎの荘にて

『西山の人形劇部』清水寺で初公演

8月12日㈫、清水寺境内の文化交流施設あららぎの庄にて、『西山の人形劇部』による人形劇「注文の多い料理店（宮沢賢治原作）」の公演が行われました。これは、今年4月に増塩理沙さん（小坂）を中心に村内の小学生からシニアまでが集って結成されたもので、メンバーの大半は未経験者ということでしたが、増塩さんと交友のある演出家の加藤直さん（東京都）が指導にあたり、今回の初公演に至りました。

人形劇では、アルパなど楽器の生演奏や歌、メンバーらが手作りした人形のいきいきとした動きに観客の皆さんは楽しそうに物語の世界に引き込まれていました。

インスタグラム『山形村清水寺』より提供

百瀬敬子さん（下竹田）が本を出版しました

百瀬さんは教師時代から不登校問題に取り組んでおり、教師退職後に不登校や親子関係、人間関係の問題に取り組む団体『モモの会』の代表となりカウンセリングや各地で講演など行っています。

講演を聴いた出版社の方に「とても良い活動をされているのに知られていないのがもったいない、本を出版してみたらどうか？」と言われ今回出版したそうです。

どんな人に読んでほしいかという質問に、「悩んでいると思考が真っすぐ一つしか考えられなくなってしまう。この本に載っている事例は全て実際に相談を受けたもので、同じような悩みがある人は参考にしてほしいです。また、悩みがない人もこれから同じような事が起きるかもしれないので全ての人に読んでほしい」と話してくれました。

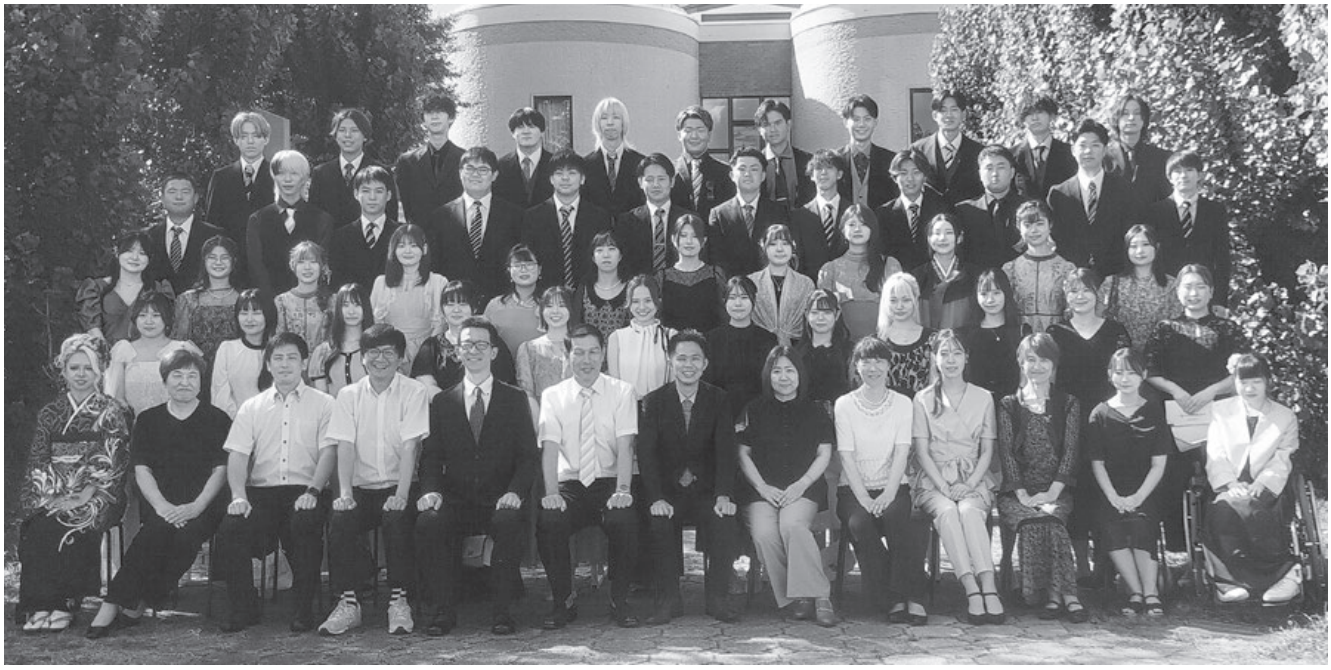
令和７年 8月14日㈭

ミラ・フード館
13:30～

おめでとうございます　はたちの集い

平成17年(2005年)
平成18年(2006年)　生まれ

90名
参加者 50名



山形村公民館報『館報やまがた』№832　８月号　令和７年８月発行
編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館　印刷／カシヨ株式会社
館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見ることができます→